

2020（令和2）年度シラバス（ 公民 ）

学番7 新潟県立新潟北高等学校

教科（科目）	公民（政治経済）	単位数	2	学年	3	学科	普通科
使用教科書	東京書籍「政治・経済」(政経 302)	副教材等					
学習目標	①民主主義の本質について理論的・体系的に理解を深めます。 ②日本国憲法の基本原理，日本の政治機構などについて理解し，現代の政治の諸課題について考察を深めます。 ③現代経済のしくみを基礎的な経済理論の観点から理解するとともに，国民経済の動向および，政府の役割と日本経済が抱える課題などについて考察します。						
指導の重点	学習目標の理解や考察を踏まえて，現代社会の諸課題について主体的に考察するとともに公正な判断力を養い，良識ある公民としての必要な能力と態度を身につけます。						

学 習 計 画 50分 時数計70

月	単 元 名	学 習 活 動（指導内容）	時数
4	第1章 現代の政治	○民主政治の基本原理について，その成り立ちを歴史的な観点から理解します。	10
5		○民主主義を支える「法の支配」の原理についてその意義を学び，実社会を規制する法の意義や機能について学習します。	10
6		○日本国憲法の成立過程と三大基本原理である国民主権，基本的人権の尊重，平和主義について歴史的な経緯を踏まえながら理解します。	20
7		○日本国憲法が保障する基本的人権について，平等権，自由権，社会権などに関する，具体的な判例に則しながらその特徴と課題について学習します。	
8		○日本国憲法の根本理念である平和主義について学習するとともに，現実の課題である日米安全保障条約にともなう沖縄の米軍基地の問題や自衛隊の現状などについて考察します。	
9		○国会，内閣，裁判所のそれぞれの機能と三権分立との関係を理解します。	20
10		○資本主義経済の核心をなしている市場の働きについて理解し，市場の失敗についても理解を深めます。	
11		○労働問題と労働運動の歴史的経緯について学習し，労働者の権利や労働組合の意義について考察します。また，雇用環境の変化と現代の労働問題について理解します。	
12		第3章 現代社会の諸課題	○現在の国際社会で実現すべき価値は何か，世界はその価値の実現のためにどのような条件を有しているか，日本はその価値の実現のために何をすべきか，日本にはそのためのどのような能力があるのかを考え，平和と公正な国際社会の構築に向けて日本のなすべきことを考察します。

評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用 of 技能	知識・理解
	○社会的事象を総合的に理解し考察しようとする態度が身についている。	○社会の変化やさまざまな立場，考え方があることを理解した上で公正に判断している。	○得られた資料や情報を効果的に活用し，社会の諸問題を探究する学び方が身についている。	○現代の政治，経済，社会，国際関係にかかわる基本的な事項や課題について体系的，総合的に理解し，その知識が身についている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、授業の取り組み（授業態度・学習活動への参加状況） ・レポート ・定期テストなどから総合的に評価します。			

担当者からの一言

政治や経済は、みなさんの生活に直結しています。仕組みを理解し、決して無関心ではいけないというを感じてください。